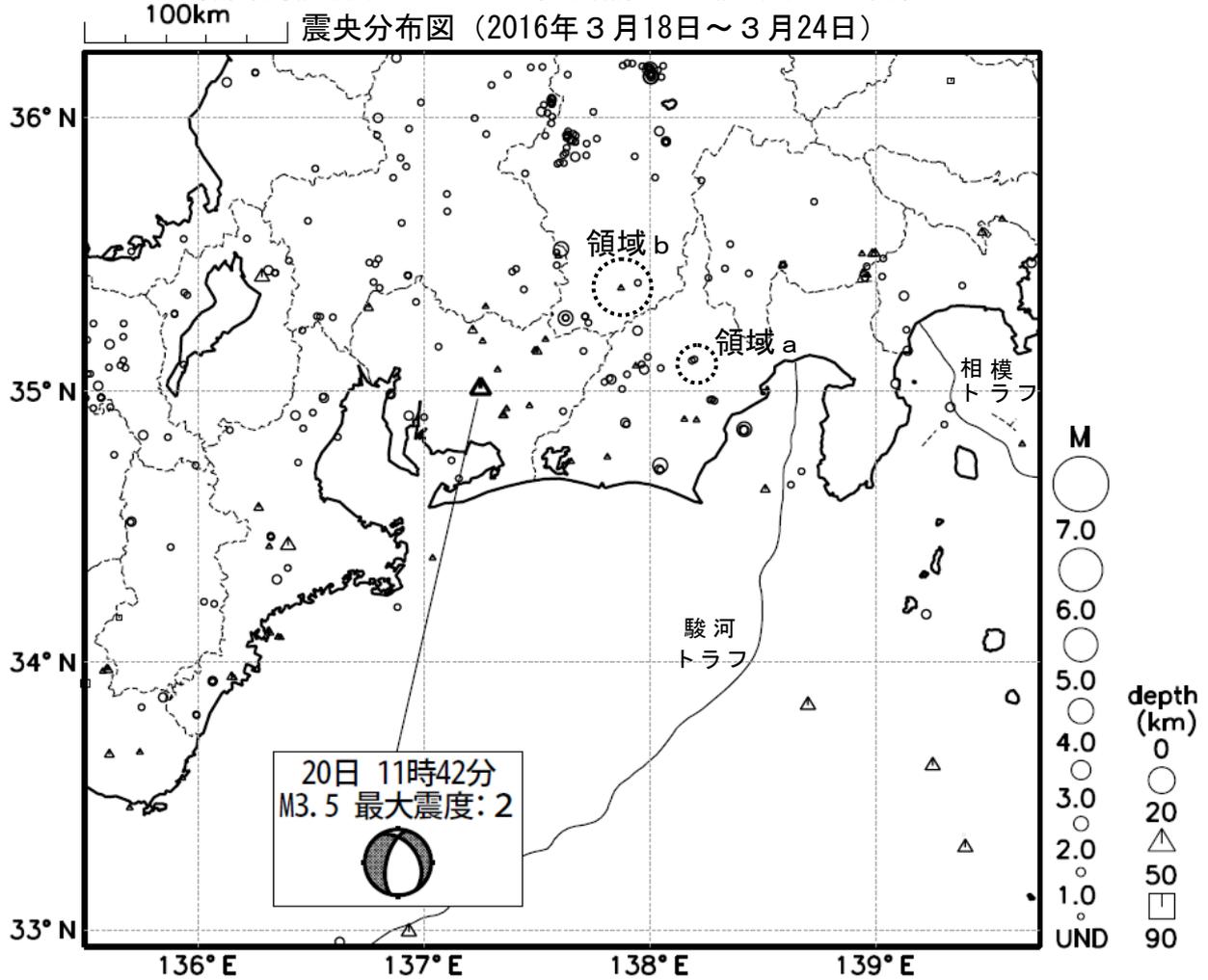


東海地域の週間地震活動概況 No. 13

*震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがある。



“震度1以上を観測した地震”、“東海地域でM3.0以上、その他の地域でM4.0以上の地震”及び“その他注目した地震”に「震源時、マグニチュード、最大震度」を付している。

【概況】

特に目立った活動はなかった。なお、平成25年はじめ頃から浜名湖付近のプレート境界で発生した「長期的ゆっくりすべり」は継続している*。

【東海地域】

【地震活動】

- ・20日11時42分に愛知県西部の深さ38kmでM3.5の地震（最大震度2）が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に張力軸を持つ正断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。
- ・2月7日から見られる静岡県中部（領域a）の地震活動は、今期間はM0.5以上の地震は観測されなかった（右図参照）。

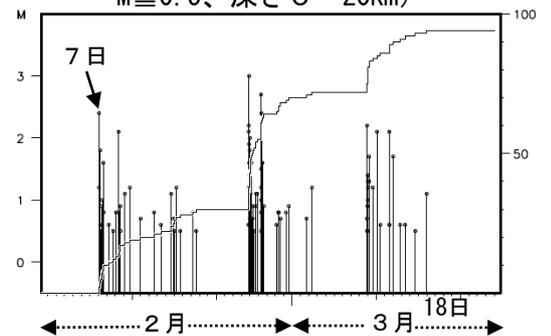
【深部低周波地震活動】

- ・20日に長野県南部（領域b）で深部低周波地震を観測した。
- ※上の震央分布図には、震源決定精度が高い地震の震央のみ表示している。
このため、震源決定精度が低い深部低周波地震の震央は表示されない。

【その他の地域】

- ・特に目立った活動はなかった。

領域a内のM-T図及び回数積算図
(2016年2月1日～3月24日、
M \geq 0.5、深さ0～20km)



本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、青森県、東京都、静岡県及び神奈川県温泉地学研究所、気象庁のデータを用いて作成している。また、IRISの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

*平成28年2月地震防災対策強化地域判定会会長会見資料 (<http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/gaikyo/hantei20160229/mate01.pdf>) 参照